

☆ららだよりは生駒市HPでもご覧いただけます！【生駒 ららだより】で検索！

捨てないで！！ マイサポいこま紹介冊子



6月15日号の広報いこまちと一緒に
《マイサポいこま》っていう冊子が
入ってるけど・・・



《マイサポいこま》ってナニ？

《マイサポいこま》は、応援したい市民ボラン
ティア団体を選んで《届出》するだけで、生駒
市からその団体へ支援金が交付される制度
なのよ！



《届出》ってめんどくさくない？
市民ボランティア団体を選ぶって
むずかしい！



どの団体を選んでいいのか・・・？

冊子の中には、どんな団体がどんなことをするの
かが書いてあるの。自分の興味のある事業や気にな
る団体の番号を《応援チケット》に書いて送るだけ！応援できる団体は3つまで！
届出の方法はこの3つ！



1. ネットで（パソコン・スマホから）
2. 郵送で（紹介冊子の表紙が封筒になるよ）
3. 窓口で（市内公共施設13箇所に届出BOX設置）

あっ！もう一つ！ららポートの職員や団体の皆さんが市内各地のイベントに出向いて受付をしま～す♪

届出よろしく お願いします！！

今年のプレゼントはこれだ！！ いこまのおやつBOX

マイサポいこまに届出をしてい
ただいた人の中から抽選で25名
に、生駒のおやつを集めたスパ
シャルBOXをプレゼント！



写真はイメージです

がんばってます！！ららポート登録団体

市内各所で活動しているららポートの登録団体をボランティアコーディネーターが取材訪問する企画！
《生駒虹の会》と《子育て支援グループ「かるがもの会」》は、どちらも子育て中のお母さんのつよ～
い味方です！

生駒虹の会

市内の子育て支援事業に参加するお母さん達に協力するために、主に赤ちゃんとお母さんの見守り活動をしている団体です。

《安心して任せてね》

生駒虹の会は、昭和54年に発足した生駒市で老舗のボランティアグループです。長年に渡り、子育てしているお母さんの支援を続けています。

この日は生駒市健康課主催の「はじめての離乳食講習会」、参加したお母さんが心置きなく講習会に集中できるように、4～5ヶ月の赤ちゃんを見守ります。屈託の無い赤ちゃんの笑顔に、どの人にも優しい笑がこぼれます。



朝からの調子は？次のミルクの時間は？・・・ホワイトボードに書かれたそれぞれの赤ちゃんの情報を見て、どんなお世話をするか判断します。

～参加したお母さんの感想～

「子どもと離れるのは初めて、ボランティアさんが見ていてくれたので安心して実習に参加できました」「子どもを見てもらえるなら、これからも色々な事業に参加できそうです」

《子育て中の母と社会をつなぐ虹のかけ橋》



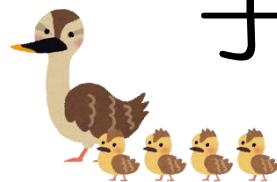
時間になったら、保健師さんがミルクを作ります。ミルクをあげるのはお手のもの！子育て・孫育ての経験がものを言います。

「これからは他のNPOとも積極的に繋がって、事業の中の託児部門を担当することで、子育て中のお母さんが参加しやすい環境を整え、共に充実した活動にしていきたい。1人では無理でも仲間がいるから、意見を出し合って共に頑張りたい！」と代表の奥野さんは考えています。

赤ちゃんに癒されるメンバー、メンバーに感謝するお母さん、お母さん達の参加で盛り上がるNPO・・・そうやって繋がっていくのは理想的で素敵なことですね。

取材・インタビュー：宮平典子（ボランティアコーディネーター）
於：5月7日（月）セラビーいこま2F

子育て支援グループ「かるがもの会」



子育て真っ最中のお母さん達に、子どもといっしょに集まれる場所を提供し、楽しく過ごしてもらうことで、「心に《ゆとり》を生む子育て」の支援をしている団体です。

《お母さんたちに楽しい時間を》

かるがもの会は、平成10年に発足した子育て支援ボランティアグループです。

市内3地区で第2・第4週の火・木・金曜日に開催される子育てサロン「かるがものおへや」は、今年で18年目を迎えます。毎回20～30組の親子が参加しています。手遊びあり、絵本の読み聞かせあり、いっしょに歌ったり体を動かしたり・・・季節のクラフトもアイデアいっぱい楽しませてくれています。



お母さんは手遊び歌やふれあい遊びでお子さんといっばいスキンシップをとります。

～参加したお母さんの感想～

「同年代のお友達と遊べる良い機会になります」、「母親同士も友達になって、これがきっかけで、他のイベントにも一緒に参加したりして楽しんでいます」

《寄り添い見守る支援》



遊んだあとのおもちゃはみんなでお片付け

「心にゆとりを無くしたお母さんに対して《だいじょうぶ》って軽はずみには使えない言葉だけど、子育てに悩むお母さんに、心から《大丈夫だよ、子育てってこんなに楽しいんだよ》って伝えてあげたい。今しかないお子さんと時間を思いっきり楽しんで欲しいな。」と代表の松本さんは話していました。

「かるがものおへや」で育った子ども達はあっという間に巣立っていきますが、ほっこりした時間を過ごしたお母さん達の心には、その優しさがずっと残りますよね。

取材・インタビュー：宮平典子（ボランティアコーディネーター）
於：5月8日（火）セイセイビル3F

